

唐松岳

【報告者】F谷

【日時】2018年5月4日～5月5日

【天候】曇り、晴れ

【参加者】O森、F谷

《コースタイム》

5月4日 10:30 八方ゴンドラ乗り場 ⇒ 11:11 八方池山荘 ⇒ 11:45 八方山 ⇒
15:00 唐松岳頂上山荘

5月5日 7:00 起床 ⇒ 10:00 出発 ⇒10:30 唐松岳山頂 ⇒13:40 八方池山荘 ⇒
16:00 八方ゴンドラ乗り場

《 報 告 》

5月3日

前回のジャンダルム飛騨尾根の終了後、松本市内（お城巡りと美術館巡り）と白馬市内でレストをしておりゆっくりと過ごして身体を休めていた。5月3日の10時過ぎにO森さんに白馬のペンションまで迎えに来てもらう。雨はやんだが、山を見上げるとガスがかかっており、天気は悪い。

そのため、3日は待機の日として宿探しに東奔西走。色々迷ったが白馬村の村営キャンプ場に泊まることにした。1泊500円と安価ながら設備は良い。我々は屋根付きの土間ありのサイトを確保。温泉に入って、スーパーの食材で宴会をした後、早めの就寝。

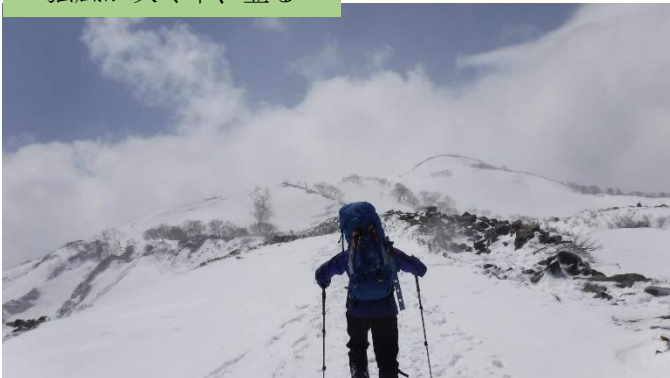
5月4日

7時過ぎに起床。食事を済ませてテントを撤収し、登山口に向けて移動。予報通り、風は強いとの事だが、ゴンドラとリフトは動いているとの事から、行ける所まで行ってみる事にしてチケットを購入し、ゴンドラに乗り込む。ゴンドラを降りてリフトを乗り継ぎ、八方池山荘まで到着。かなりの強風が吹いている。

強風が吹く中、出発。八方池を越えて、歩きながら下山するかどうか協議するが、もう少し行けるだろうと登山を続行する。途中、強風で一瞬体が浮く。

登山を続けていると、登山者がどんどん降りてくる。皆、強風のため降りるとの事。色々話を聞いていると丸山ケルンまで行って帰ってきているパターンが多かったようだ。

強風が吹く中、登る



登山道を登る、他の登山者



2300m あたりでアイゼンを装着する。後続は女性の単独者 1 名。大阪府から来たそうである。折角なので、できれば登りたいとの事であった。我々も行ける所まで行くこととし出発。丸山ケルンを越えて、稜線上のルートを選びながら登る。15時過ぎに小屋に到着。本日は我々しか登ってきていないとの事であった。暫くして、単独の女性が到着し、その日は小屋についたのは 3 名のみであった。小屋番から、Ⅲ峰尾根の取り付き箇所などを教えて頂く。雪が降った後なので、雪崩のリスクがあるとのことであった。

天気が回復しなければ、計画を変更して山頂のみ登ることとした。

5月5日

起床後、天気が回復するまで小屋で待機。天気は回復してきたが、風は強い。10時、昨日の単独の女性と 3 名で山頂に向けて出発。山頂に向けて移動するが、風はかなり強い。特にコルの場所が風の通り道となっており、風がきつい。自分は山頂の約 30m 前まで登ったが、風がきつくて持っていた鯉のぼりがあったので登頂を見送ることにして下山。最終的には O 森さんと女性の 2 名で山頂に登頂。

鯉のぼりと記念撮影



丸山ケルンから北壁を眺める



小屋に戻ってきて二人で記念撮影を行った後下山スタート。道迷いしやすい尾根などを確認しながら下山する。本日は昨日より風が強いとの事でゴンドラは運休。リフトとゴンドラに乗った所を歩いて降りて、ゴンドラの運営会社が出してくれたバスに乗り下山。

下山する O 森さん



